

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名		部名	産業建設部	
	17005	西野公園改修事業(公園施設)		課名	土木課 施設保全G	
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	01:都市づくりの推進			款	08:土木費
	施策の方向	04:公園・緑地の整備・利活用			項	04:都市計画費
戦略プロジェクト	01:「健都さぷり」プロジェクト		目		02:公園管理費	
事業予定期間	H 29 ~ R 3 年度	主な根拠法令要綱等		都市公園法		

目的・概要	対象	公園利用者
	目的	令和3年に開催される第76回国民体育大会(三重とこわか国体)に向け、西野公園施設の改修を行い、円滑な大会運営ができる環境を整備するとともに、公園利用者の利便性の向上を図る。
概要	便所改築、公共下水道接続、外周柵更新、東屋改築、藤棚更新、体育館前の植栽植替え・ベンチ設置、中央広場修繕、周遊遠路の舗装・照明設置	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
年度計画	年度計画	便所改築(1箇所) ・工事、監理委託 公共下水道接続工事	便所改築(1箇所) ・工事、監理委託 外周柵更新工事 東屋改築工事(1箇所) 藤棚更新工事(1箇所) 植栽植替え更新工事(体育館前) ベンチ設置工事(体育館前)	中央広場修繕工事 周遊園路工事 ・舗装工事、照明設置工事	
	年度実績	○便所改築(1箇所) ・工事、管理委託 ○公共下水道接続工事	便所改築(1箇所) ・工事、監理委託 外周柵更新工事 植栽植替え更新工事(体育館前)		
事業の計画・実績	計画額	事業費	48,000千円	42,000千円	32,000千円
		国庫支出金	9,000千円	18,500千円	11,500千円
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源	39,000千円	23,500千円	20,500千円	
	予算額	事業費	51,369千円	29,000千円	
		国庫支出金	11,185千円	14,000千円	
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源	40,184千円	15,000千円	0千円	
	決算額	事業費	49,820千円	28,946千円	
		国庫支出金	11,185千円	14,000千円	
		県支出金			
地方債					
その他					
一般財源	38,635千円	14,946千円	0千円		
人件費	総人件費	3,140千円	2,352千円	0千円	
	一般職員	3,140千円	2,352千円	0千円	
	所要人員	0.40	0.30		
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト(+)		52,960千円	31,298千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

				令和元年度	令和2年度	令和3年度
指標	名称	便所改築工事	活動	計画値	1	1
				実績値	1	1
				単位	箇所	箇所
	名称	外周柵更新工事	活動	計画値		1
				実績値		1
				単位		式
	名称	周遊園路工事	活動	計画値		1
				実績値		
				単位		式

事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 交付金事業である公園施設長寿命化対策において、事業採択可能な改修施設を選定して、計画的に整備を行っていく。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 事業採択可能な改修施設の選定を行った。

		評価	(判定)
事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 西野公園にある南側便所について、バリアフリー対応便所の建て替え及び外周柵更新工事を実施した。なお、一部施設について繰越工事となるが、年度計画どおり実施できる見込みである。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 三重とこわが国体の円滑な大会運営ができる環境を整備できたとともに、公園利用者の利便性の向上が図れた。	A 十分な成果を得た

今後の対応方針	課題	【課題は何か】 現状施設の老朽化が著しくなっているため、公園施設の利便性に配慮した整備を計画的に行う必要がある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 [その他の場合、その内容を記載]
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 交付金事業である公園施設長寿命化計画策定事業における事業採択可能な改修施設を選定し、国の補正または、制度改正等の情報をいち早く収集し財源確保に努めていく。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 西野公園利用者の利便性が向上する。	
対応時期		令和3年度	

【1次評価者】	産業建設部 土木課 施設保全グループリーダー 曾我 信介
【最終評価者】	産業建設部 土木課長 宮崎 伸二

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	A	A	A	
	成果	B	A	A	A	

令和2年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		29,000 千円
内訳	令和元年度からの繰越額	千円
	令和2年度の最終予算額	34,000 千円
	令和3年度への繰越額	5,000 千円